

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 6 組～ 8 組

教科担当者：（6組：藤田由起）（7組：藤田由起）（8組：藤田由起）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（書 I 教育図書 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮							
A 単元 【知識及び技能】 用具用材の特徴や表現効果としての関わりを理解する 目的や用途に即した効果的な表現などを身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 中学書写で学んだ表現形式などや、意図に基づいた表現について構想し工夫ができる 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現活動に主体的に取り組もうとする	○書へのいざない ・姿勢や執筆法、基本用筆など書の基本を身に付け、用具用材の種類、名称、製法、扱い方などについて学ぶ ・中学校までの書写の学習を振り返り、書写と書道の共通点と相違点を理解する ・漢字の書体の変遷と仮名の誕生について理解する	○			○	【知識及び技能】・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している ・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している 【思考力、判断力、表現力】・漢字の書体の変遷、仮名の成立等について理解している ・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている 【学びに向かう力、人間性】・主体的に幅広い表現と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	○	6
B 単元 【知識及び技能】 楷書の古典の書体や書風と用筆運筆との関わりについて理解する 楷書の古典に基づく基本的な用筆運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典の書体や書風に即した用筆運筆、字形、全体の構成について構想し工夫することができる 楷書の古典の価値を考え、書の良さや美しさを味わって捉えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 楷書の表現の特質に基づき、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとする 楷書のよさや美しさ、作品の価値などを考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとする	○漢字の書 楷書 ・楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を感じ取る ・唐の四大家等の作品(孔子廟堂碑、九成宮醜泉銘、雁塔聖教序、顏氏家廟碑)等の鑑賞と臨書を通してその書美を学ぶ		○		○	【知識及び技能】・漢字の書の楷書の古典の書風と用筆・運筆の関係を理解している ・漢字の書の楷書の古典の表現に基づく、基礎的な用筆・運筆の技能を身につけて表している 【思考力、判断力、表現力】・漢字の書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想、表現を工夫している 【学びに向かう力、人間性】・漢字の書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている	○	○	○	○	14
B 単元 【知識及び技能】 行書の古典の書体や書風と用筆運筆との関わりについて理解する 行書の古典に基づく基本的な用筆運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 行書の古典の書体や書風に即した用筆運筆、字形、全体の構成について構想し工夫することができる 行書の古典の価値を考え、書の良さや美しさを味わって捉えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 行書の表現の特質に基づき、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとする 行書のよさや美しさ、作品の価値などを考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとする	○漢字の書 行書 ・行書の特徴を理解し、行書古典の書風の相違を感じ取る ・王羲之の書の尊重と影響について知る ・集王聖教序や蘭亭序などの鑑賞と臨書を通してその書美を学ぶ		○		○	【知識及び技能】・漢字の書の行書の古典の書風と用筆・運筆の関係を理解している ・漢字の書の行書の古典の表現に基づく、基礎的な用筆・運筆の技能を身につけて表している 【思考力、判断力、表現力】・漢字の書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想、表現を工夫している 【学びに向かう力、人間性】・漢字の書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている	○	○	○	○	4
B 単元 【知識及び技能】 篆書・隸書・草書等の古典の書体や書風と用筆運筆との関わりについて理解する 篆書・隸書・草書等の古典に基づく基本的な用筆運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 篆書・隸書・草書等の古典の書体や書風に即した用筆運筆、字形、全体の構成について構想し工夫することができる 篆書・隸書・草書等の古典の価値を考え、書の良さや美しさを味わって捉えることができる	○漢字の書 草書、隸書、篆書 ・草書、隸書、篆書の各書体の生まれた背景を知り、特徴を理解する ・草書、隸書、篆書の作品の鑑賞と臨書を通してその書美を学ぶ 漢字の書の創作 ・漢字の書の作品制作の手順を知り、表現を楽しむ		○		○	【知識及び技能】・漢字の書の篆書、隸書、草書の古典の書風と用筆・運筆の関係を理解し、篆書、隸書、草書の古典の表現に基づく、基礎的な用筆・運筆の技能を身につけて表している 【思考力、判断力、表現力】・漢字の書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想、表現を工夫している 【学びに向かう力、人間性】・漢字の書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている	○	○	○	○	18

2 学 期	<p>【学びに向かう力、人間性等】 篆書隷書草書等の表現の特質に基づき、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとする</p> <p>篆書隷書草書等のよさや美しさ、作品の価値などを考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとする</p>											
	<p>C 単元</p> <p>【知識及び技能】 仮名の古筆の書体や書風と用筆運筆との関わりについて理解する 仮名の古筆に基づく基本的な用筆運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆の書体や書風に即した用筆運筆、字形、全体の構成について構想し工夫することができる 仮名の古筆の価値を考え、書の良さや美しさを味わって捉えることができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 仮名の表現の特質に基づき、幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとする 仮名のよさや美しさ、作品の価値などを考えながら、幅広い鑑賞の学習</p>	<p>○仮名の書 ・仮名の生まれた背景と変遷を理解する ・仮名の基本用筆と平仮名、変体仮名、連綿を学び、仮名文字の表現の幅広さを感じ得する ・古筆の鑑賞と臨書を通してその書美を学ぶ</p>		○	○	○	○	○	○	○	○	8
3 学 期	<p>C 単元</p> <p>【知識及び技能】 仮名の古筆に基づく基本的な用筆運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 仮名の古筆の書体や書風に即した用筆運筆、字形、全体の構成について構想し工夫することができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 仮名の表現の特質に基づき、幅広い表現や鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとする</p>	<p>○仮名の書 仮名の書の創作 ・散らし書きの古筆の美しさを感じ得する ・仮名の書の作品制作の手順を知り、表現を楽しむ</p>		○	○	○	○	○	○	○	6	
	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 用具用材の特徴と表現効果との関わりや、名筆や現代の書の表現と用筆運筆との関わりを理解し、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けようとしている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形や文字の大きさ、全体構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現等表現について構想し工夫している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の意図に基づく表現、感じ仮名交じりの書のものに基づく幅広い表現活動や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする</p>	<p>○漢字仮名交じりの書 ・漢字と仮名による日本語表記とその変遷を知り、漢字と仮名の調和を学ぶ ・漢字仮名交じりの書の紙面構成について学び、言葉と表現の関係について考える ・漢字仮名交じりの書の作品制作の手順を知り、表現を楽しむ</p>		○	○	○	○	○	○	○	14	
											合計	70